

たかはまとうぶ

高浜東部地区

(石川県志賀町)

- 計画期間 平成26年度～平成30年度
- 面積 57.8ha
- 交付対象事業費 862.6百万円
- 町人口 19,418人 (地区内人口 1,071人)

ポイント

安全・安心で住みよい地区環境形成による定住促進と中心市街地の活性化

地区概要

高浜地区は、中心市街地を形成し、国道249号の西側に既成市街地が形成されている一方、東側においては部分的に住宅地が形成されており、宅地に隣接する畜産場跡地の活用を図り、良好な居住環境を創出する。

目標

若い世代の快適な住環境の提供や安心して子供を産み、育てられる環境づくり、魅力ある就業の場の創出などにより、若い世代のライフスタイルに対応した生活環境の充実を目指す。

指標

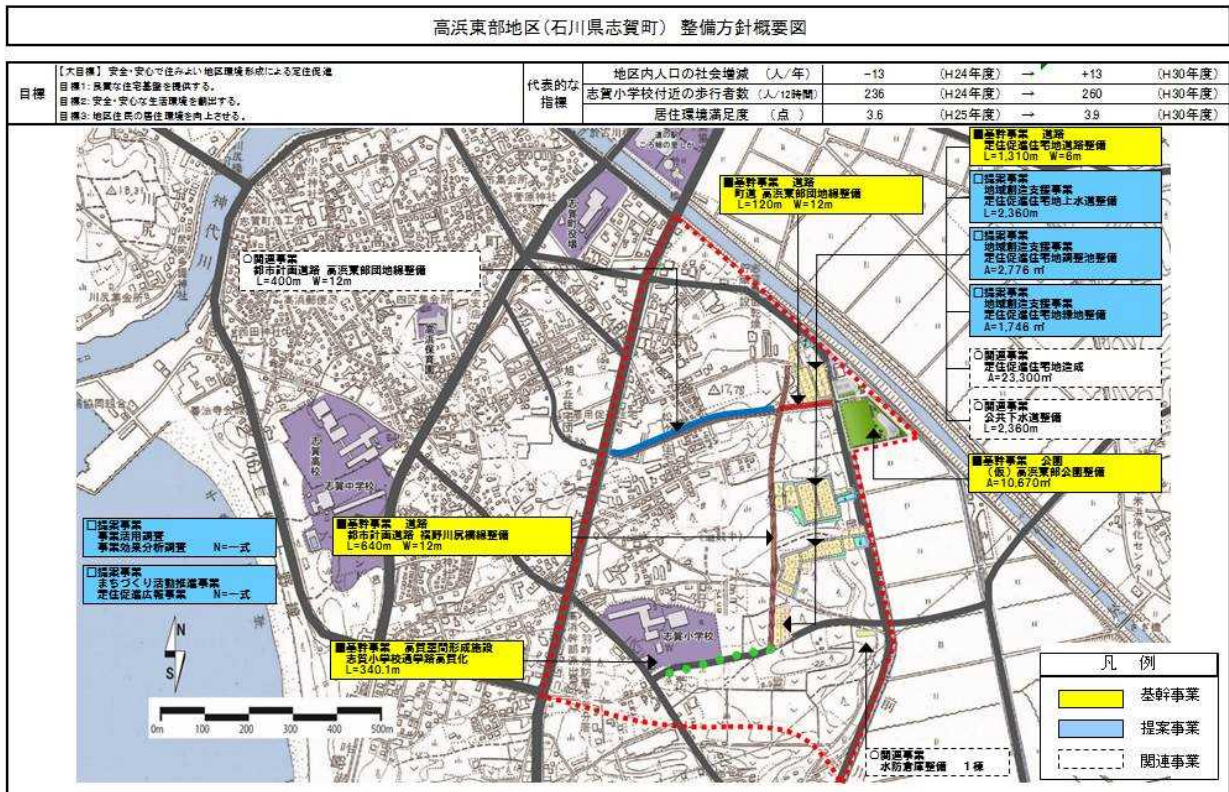
地区内人口の社会増減、志賀小学校付近の歩行者数、地区住民の居住環境に関する満足度を指標とした。

地区内人口の社会増減	-13人/年 (H25)	→	+1人/年 (H30)
志賀小学校付近の歩行者数	236人/12h (H24)	→	200人/12h (H30)
居住環境満足度	3.6点 (H25)	→	3.5点 (H30)

事業内容

基幹事業 (690.1百万円) → 道路 (12m、延長640m)、公園 (1.1ha)、高質空間形成施設 (歩道融雪 延長L=328.5m)

提案事業 (172.5百万円) → 定住促進住宅地上水道整備、調整池整備、緑地整備、事業効果分析調査、定住促進広報



地区の現況と課題

地区の現況

志賀町中心市街地（高浜市街地）の東部に位置し、未利用地が広がる中で部分的に住宅地が形成されている地域であり、宅地に近接して悪臭の発生源となっていた畜産場の廃業に伴い、その跡地（町用地取得済）の有効活用が求められている。

まちづくりの課題

その跡地を活用した良好な住宅地基盤整備による居住環境の向上と人口定着、統合整備された志賀小学校周辺のアクセス改善などにより、安全・安心で住みよい地区環境形成による定住促進を図ることが課題である。

提案事業の特徴

定住促進住宅地上水道・緑地整備

畜産場跡地を良好な住宅地として整備することで、悪臭等の発生を防止し、地区住民の憩いの場として、住宅周辺に公園・緑地整備を周辺居住環境の改善を図る。

定住促進住宅地調整池整備

豪雨等の災害の軽減を図るため、住宅地内に調整池を整備し、安全・安心な生活環境の創出を図る。

住宅促進広報事業

町広報や町HPでのお知らせ、現地見学会の開催、パンフレットの作成・配布、新聞折り込み、新聞広告掲載を行うなど、周知を図る。

計画策定プロセス

防災・省エネまちづくりの推進

東日本大震災を受け、防災性能が高く、地域性（石川の四季との共存）、環境性（自然エネルギー活用の優先）、ライフスタイル（地域に根ざした暮らし）に工夫した省エネルギー性能の高い住宅・建築物の推進を図る。

まちづくりアンケートの実施

まちづくりの方向性を把握することを目的に、現状の道路環境における安全性や快適性に関する満足度の調査を行う。

魅力あるまちづくりの実施

安心して子供を産み、育てられる環境づくり、若い世代のライフスタイルに対応した生活環境の充実を進めるため、建築物に関する基準について、「まちづくり協定」を定める。



▲ 定住促進住宅地区画



▲ 定住促進住宅地（みらいとうぶ）



▲ 都市計画道路 福野川尻橋線



▲ 高浜東部公園の整備